令和元年度長野県林業総合センター研究成果発表会

これからの森林管理と山づくりを考える

日　時　　令和元年 6月18日(火)　13:00～16:00
場　所　　塩尻市レザンホール（塩尻市大門七番町4-8）

口頭発表・全体質疑 (13:10～15:10)

◆森林・林業におけるリモートセンシング技術の活用　育林部　戸田　堅一郎

広域な森林の調査では、人工衛星、ドローン、車載機等によるリモートセンシング技術の活用が有効です。しかし、これらの技術には長所・短所があるため、目的に応じて調査技術の選択や組み合わせが必要になります。これらの調査技術の活用事例を紹介します。

◆再造林を安く確実に行うには　ー造林作業の機械化と下刈り省力化ー

育林部　大矢　信次郎

世界的に見ても高い日本の再造林経費。これまでは人力に頼った作業が大半を占めていましたが、これからは機械化による低コスト化と労働負荷低減が求められます。今回は、地拵えの機械化によるコスト削減と、併せて期待される下刈り回数の削減について報告します。

◆再造林に向けたカラマツ等種苗供給への取り組み　育林部　清水　香代

再造林時に優良で品質のよい苗を植栽するため、近年生産が増加しているカラマツのコンテナ苗をより低コストで生産するための工夫や、その元となる種子を安定して供給するための研究成果とマツ材線虫病被害を受けにくいアカマツについて紹介します。

◆松くい虫被害先端地で何が起きているのか　育林部　柳澤　賢一

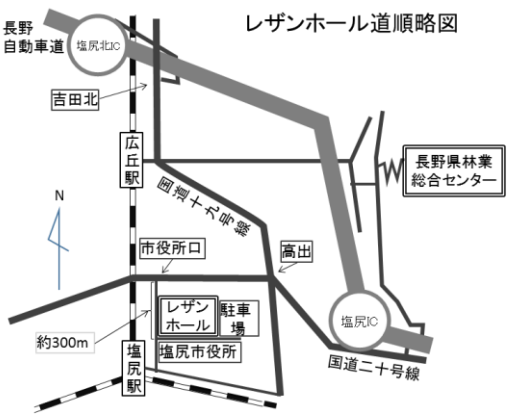
マツ材線虫病によるアカマツの枯損木は、県内中信地域において急激に増加しています。被害がどのくらいの速度で拡大したのか、また、本病の媒介昆虫種と密度がどう変化したのかを中心に、被害先端地で起きている現象を報告します。

◆カラマツ林を活用したハナイグチ（ジコボウ）増殖技術
～ハナイグチの発生と気象環境の関係～　特産部　片桐　一弘

カラマツ林に発生する菌根性きのこハナイグチ（ジゴボウ）の林地増殖技術について紹介します。また、ハナイグチの発生と地温・降水量との関係について県下６箇所にある現地実証試験地の調査データを基に報告します。

ポスター展示発表 (15:20～16:00)

当センターや関係機関等における林業・木材関係の研究成果や取組等を紹介します。



☆ポスター・展示物発表募集！！
ポスター展示会場でのポスター発表、展示物等を募集しています。ご希望の方は下記連絡先へ6/6(木)までにご連絡ください！

〈お問合せ先〉
長野県林業総合センター　指導部　百瀬・髙野
〒 399-0711　塩尻市片丘5739
TEL 0263-52-0600 FAX 0263-51-1311
E-mail　ringyosogo@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/index.html